

校友会報



Contents

- 02-03 2012年度 第14回大阪経済法科大学校友会総会・懇親会
第41回経法祭「NEXT CHALLENGE」
-
- 04-07 母校の近況
創立40周年記念式典
八尾駅前キャンパス[オーバル]開校
母校の取組・在学生の活躍紹介
-
- 08-09 活躍する卒業生 岸 泰至(法学部12期生)
-
- 10-13 支部活動報告
東京支部・愛知支部・石川支部・三重支部・
岡山支部・広島支部・高知支部・香川支部・
福岡支部・沖縄支部
-
- 14-15 2011年度決算書／2012年度予算書
-
- 16 平成24年司法試験に合格
事務局だより／校友会Q & A



総会・懇親会実行委員会委員長挨拶

全国の校友の皆さんこんにちは。平素は校友会事業に関しまして、多大なご理解ご支援をいただき誠に有難うございます。

今年も本学卒業生が一同に集う校友会総会・懇親会の季節がやって参りました。昨年40周年を迎えた母校は、花岡キャンパスの学生ホール棟「クロノス」に引き続き、本年4月に近鉄八尾駅前(徒歩5分)の絶好のロケーションに、地上12階建ての最先端の都市型キャンパス[オーバル]を開校いたしました。そこは、まさしく既設の花岡キャンパスで基本素養を身につけ、専門キャリアを形成する拠点としてふさわしい環境が整備されております。現役学生のみならず、我々卒業生にとりましても、さらに飛躍し続ける本学を目の当たりにするのは誠に光栄であります。

さて、今年の総会・懇親会は、新たに竣工した八尾駅前キャンパス[オーバル]にて、新たな歩を踏み出した母校を体感していただけるホームカミングデーとして位置づけ、在学生の経法祭実行委員会とも連携し、卒業生や家族、友人等にも学園祭に参加いただける機会を設けるといふ贅沢な企画を実行委員中心に鋭意進めております。公私とも何かとお忙しいことは存じますが、年に一度、学生時代を共に過ごした校友との再会で英気を養いましょう。母校である大阪経済法科大学の新たな象徴となる[オーバル]で、一人でも多くの校友の皆さま方とお目にかかれまして心よりお祈りいたしております。



八瀬林 肇 実行委員会委員長
(校友会副会長・法学部6期生)



総会

日時:2012年11月10日(土)16時30分~17時30分(受付16時~)
会場:八尾駅前キャンパス[オーバル]6階 603・605講義室
内容:今年4月に開校したばかりの八尾駅前キャンパス[オーバル]で、初めての総会を行います。

総会では、伴井敬司会長より、本会事業の現状と今後の方向性について、校友の皆さまにご報告いたします。また、藤本和貴夫学長からも、母校の近況及び今後の展望などについてご報告いただきます。校友会事業報告及び校友会事業計画、各地域支部の活動報告、活動計画などについて報告が行われます。



※昨年度第13回総会・懇親会の模様

懇親会

日時:2012年11月10日(土)18時~20時30分
会場:八尾駅前キャンパス[オーバル]2階 学生プラザ
会費:3,000円 ※2011年度卒業生は無料

内容:開放感溢れる[オーバル]2階学生プラザで、美味しい食事に舌鼓を打ちながら、校友・在学生・教職員との交流をお楽しみください。
懇親会では、その他にも、在学生との共同企画や素敵な景観が当たるピンゴ大会など、参加いただいた皆さまにご満足いただけるような企画を鋭意準備しております。



第41回経法祭「NEXT CHALLENGE」同日開催

11月9日(金)~11月11日(日)の3日間、41回目の開催となる経法祭(学園祭)が盛大に開催されます。今年の経法祭は、これまでの花岡キャンパスに加え、今年4月に開校した八尾駅前キャンパス[オーバル]を新たな舞台に加え、初の2キャンパス開催となります。

花岡キャンパスでは、模擬店や多様な企画を取り揃えたステージイベント、また前夜祭(9日)の恒例行事である河内音頭など、老若男女を問わず全ての参加者に楽しんでいただけるイベントを用意しています。また、[オーバル]でも、文化系クラブの展示会をはじめ、地域の商店街などと連携した多彩な企画を実施予定です。

校友会では、10日(土)・11日(日)の2日間、花岡キャンパスで経法祭参加企画として模擬店を出店予定です。この企画は、校友会の年間活動計画にも含まれており、つくたての餅を色んな形で調理し、経法祭の参加者に販売するというものです。校友会模擬店の餅は、毎年すぐに完売する人気の商品となっています。校友と一緒に餅をついてみたい方は、ご遠慮なくご参加ください。

在学時の思い出がたくさん残った懐かしの花岡キャンパスと新たに開校した[オーバル]に是非足をお運びください。第41回経法祭プログラムの詳細については、第41回経法祭ホームページ(<http://campus.keiho-u.ac.jp/council/keihosai/>)の内容をご確認ください。(下の写真は、昨年度第40回経法祭の模様)



創立40周年を記念し、八尾駅前キャンパス竣工式を挙行

2011年12月7日(水)、快晴の穏やかな天気の中、約300名のご来賓の皆様のご出席のもと、「創立40周年記念大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス竣工式」が、八尾駅前キャンパス[オーバル]にて挙行されました。

当日は、オーバル前特設テントにて、関係者出席のもと、午前10時から神事が執り行われました。

神事が無事滞りなく終了した後、正面玄関前にて、理事長、学長、副学長、在学生代表など7名によるテープカットが行われ、新キャンパスの門出を祝いました。

その後、来賓者は、新キャンパスに入館し、図書館、エクステンションセンター、演習室、アクティブラーニング教室など、八尾駅前キャンパス内の施設・設備を見学しました。



藤本和貴夫学長 小出秀文 日本私立大学協会事務局長 田中誠太八尾市長



記念式典の様様



濱田剛史 高槻市長(法学部13期生)



村林新吾氏(経済学部9期生・右)と 中村雅史氏(法学部9期生・左)

正午より、オーバルにて記念式典が執り行われ、金澤理事長、藤本学長の挨拶に引き続き、小出秀文・日本私立大学協会事務局長、田中誠太・八尾市長から祝辞を頂きました。

食事歓談を挟んで、本学の海外姉妹校からの祝辞として、中国・北京大学総長の周其鳳教授からの祝辞を劉新芝・北京大学国際交流合作部留学生弁公室副主任が代読された後、米国・ハワイ大学太平洋アジア研究院院長のエドワード・シュルツ教授、韓国・崇実大学校総長の金大根教授からのビデオメッセージが紹介されました。

その後、昨年5月より第20代高槻市長を務められている濱田剛史弁護士(法学部13期生)からのビデオメッセージによる祝辞、学校法人興國学園興國高等学校の草島葉子理事・副校長から心のこもった祝辞が送られました。

来賓祝辞では、本学の建学理念に基づき展開される実学教育と、八尾駅前キャンパスで新たに展開される教育実践に対する期待と激励の言葉が寄せられました。

また、来賓として、三重県立相可高校の調理クラブ顧問で、ドラマにもなった高校生レストランをオープンさせた村林新吾教諭(経済学部9期生)が登場し、式典の司会を務めた中村雅史氏(法学部9期生)とのミニトークが行われました。

式典の後半では、今回の式典のために、在学生の将来の夢とその実現に向けた決意がまとめられたメッセージビデオ「Dreams come true」が上映され、力強く夢の実現に向け歩み続ける学生の姿に、来場者から盛大な拍手が送られました。

記念式典の最後は、能塚副学長により、参列者への御礼の挨拶が述べられた後、今後の本学の展望が力強く語られ、「創立40周年記念大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス竣工式」は無事閉式となりました。

近鉄八尾駅前に都市型キャンパス[オーバル]開校

八尾駅前キャンパス[オーバル]は、実践型・体験型授業や就職活動の拠点となる、社会とつながるキャンパスです。12階建て、高さ約60mを誇る地域のランドマークとなる新キャンパスは、街中にあるロケーションを活かして、企業や商店、官公庁などと連携した実践的な学びを豊富に展開。また、梅田・難波へスムーズにつながる良好なアクセスは、業界・企業セミナーや合同会社説明会に参加しやすいメリットがあります。「花岡キャンパス」で基礎的な知識を学び、「八尾駅前キャンパス」で専門的な知識を学び、それを実践する。ふたつのキャンパスの連携により、大阪経済法科大学の学びの環境がさらに充実しました。

最先端の設備をそなえた都市型キャンパス



学生プラザ

西側の通りから直接入館できる2階は、学生プラザ、カフェ、デッキテラスが並ぶ“にぎわい”のフロア。食事やカフェを楽しむのももちろん、さまざまなコミュニケーションの場として、授業以外の時間を自由&快適に過ごせます。



キャリアセンター

3階キャリア支援課、キャリア情報ラウンジ、相談室、多目的室などが集まるキャリアセンター。オーバルがもつ交通の便利性や、地域・企業と接点の多いエリア特性を活かしてキャリア形成を力強く支援します。



ICTアクティブラーニングフロア

プレゼンテーションに適した、扇形・階段状の教室。ICT機器を駆使して能動的に学修できるアクティブラーニング教室。さらにPC教室やICTラボなど、5階のICTアクティブラーニングフロアでは「新たな学び」を体感できます。



講義室・演習室スペース

6階から9階は、中・小規模の講義室や演習室が配置されています。電子黒板付きのプロジェクターが設置された演習室は、空き時間にも自由に使用可能。7階には、授業の合間に一息つけるラウンジも完備されています。



Sコース自習室(アドバンスラーニングフロア)

10階のアドバンスラーニングフロアには講義室のほか、法書・公務員・会計職などをめざす学生が専門的に学べる特別演習室、Sコース生専用の自習室、学生や教員・講師のためのコモンスペースなどが完備されています。



図書館

大阪の街並みを一望できる、建物のオーバル部分を活用した図書館。中央吹き抜けの階段でつながった2つのフロアに、経済学・法学の専門書や雑誌、DVDなどが並んでいます。11階にはエクステンションセンターの学修コーナーも設置しています。

経済学部、法学部の収容定員の変更が認可されました。

本学は、経済学部経済学科及び法学部法律学科の収容定員の変更を文部科学省に申請し、2012年6月21日付けで文部科学大臣より認可を受けました。それに伴い、2013年度から入学定員・収容定員は右記のとおり変更となります。

学部・学科	変更前		変更後	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
経済学部経済学科	200	800	320	1,280
法学部法律学科	200	800	260	1,040
合計	400	1,600	580	2,320

『2013年度版大学ランキング』、『本当の「大学ランキング」』に本学記事が掲載されました。

『2013年度版大学ランキング』（朝日新聞出版）の「インターンシップランキング」で、本学は参加比率（学年定員比）で大阪1位（関西2位、全国9位）にランキングされました。

本学では、キャリア形成教育の一環として、学生のインターンシップ参加を積極的に推進しており、インターンシップ先の企業・事業所数も拡大し、官公庁や法律事務所・税理士事務所、議員事務所など、学生の志望進路に合わせて多様な派遣先が準備されています。

なお『2013年版大学ランキング』では、「インターンシップランキング」のほか、「就職支援部門の職員（職員1人あたり学年定員）」や「公務員採用（警察官）」、「公務員採用（消防官）」、「公務員採用（自衛官）」などでもランクインしました。

また、「本当の『大学ランキング』」（別冊宝島）の「こんな大学で学びたい！」でも本学が取り上げられ、「『勉学と就職ゼミが2年間』画期的制度で大変身」との見出しで、近年の実績やSコース、資格講座、キャリア支援講座等の取組に加え、専任教員の他に先輩学生のメンターと職員のサブチューターが参加する「1年生ゼミ」、2年生以降の「アカデミックゼミ」と「キャリアゼミ」からなる「Wゼミ」制度等が本学の教育特色として紹介されています。



鈴木宗男前衆議院議員による特別講義を開催しました。

7月18日（水）、八尾駅前キャンパス[オーバル]にて、新党大地代表・鈴木宗男前衆議院議員による特別講義が行われました。この特別講義は、共通教育科目「現代日本の議会と行政」の一環として行われたもので、鈴木氏には「国会議員の役割と活動」をテーマに講義を行っていただきました。

講義では、エリツィン元ロシア大統領と橋本龍太郎元総理大臣の間で行われていた領土問題交渉などのエピソードを織り交ぜながら、議員として深く携わっていた日露交流や北方領土問題、国会議員の政治活動・外交交渉の実態について解説をいただきました。

また、家族や友人との絆の大切さ、そして人生における目標や目的を定め、その実現を目指して地道に努力することの重要性を語り、学生たちにエールを送っていただきました。

特別講義は同科目の受講生のほか、本学の教職員や一般学生、市民・報道関係者の方々など多数の方々で聴講。著名な政治家によるエネルギーな講義に強い刺激を受けた様子でした。このほか当日は、鈴木宗男氏の2009年度衆議院議員選挙での選挙活動の様子を追ったドキュメンタリー映画「ムネオイズム2.0～愛と狂騒の13日間～」の上映も行われました。



7カ国・地域の大学生が参加し、「第6回国際学生交流セミナー」開催

8月2日（木）～15日（水）の2週間、本学と各国・地域の本学海外提携校の学生が日本・中国・韓国を訪問し、国境を越えて共に学ぶ「国際学生交流セミナー」を開催しました。

6回目の開催となった今年度のセミナーは、本学、復旦大学（中国）、崇実大学（韓国）、ロシア極東連邦大学、台湾大学、モンゴル大学からの学生に、コロラド大学（アメリカ）からの学生を新たに迎え、7ヶ国・地域の大学生たちによるセミナーとなりました。

本セミナーでは、共通言語を英語としており、学生の語学力向上にも貢献していますが、それ以上に異文化理解の機会としても大きな意義を持っています。

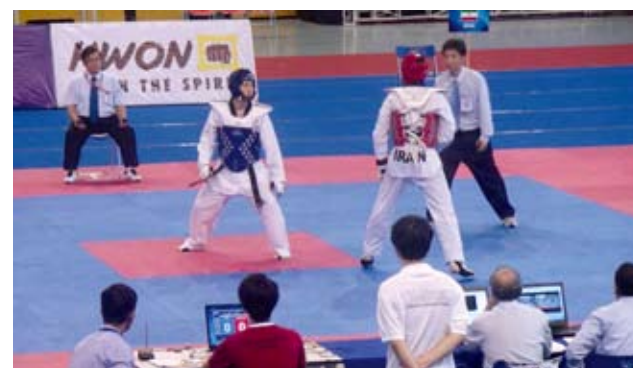
今年度のセミナーテーマである『東アジア共同体構想について』、本学の学生10名を含む総勢34名の参加者は、ソウル・大阪・上海の順に各国を訪問しながら、国や認識の違いを超えた建設的な議論を交わし、大学の授業では味わえない充実した時間を過ごしていました。



アジアテコンドー選手権大会で強豪選手を撃破し、ベスト8入賞

5月9日（水）～11日（金）の3日間、ベトナム・ホーチミン市で開催された第20回アジアテコンドー選手権大会に、本学テコンドー部の三橋佑樹選手（経済学部3年）が出場し、世界ランキング3位の強豪選手を相手に見事勝利を収め、男子63kg級でベスト8に入賞しました。

同選手は、本年2月に開催された第5回日本テコンドー選手権大会兼第20回アジアテコンドー選手権大会及び第12回世界大学テコンドー選手権大会日本代表選手評価会の結果（男子63kg級優勝）、日本代表選手として選出されました。同大会は、アジアテコンドー連盟が2年に1度開催する、テコンドーのアジアNo.1を決める権威ある大会です。



卓球部が日本肢体不自由者卓球協会主催の強化合宿に参加

7月28日（土）、大阪市舞洲障害者スポーツセンターにおいて、日本肢体不自由者卓球協会主催のナショナルチーム（NT）強化合宿の練習相手（トレーナー）として、本学卓球部が招聘され参加しました。

今回の合宿は、全国からNT強化選手（前年度各クラスの1・2位）が集まり、今夏のロンドンパラリンピックの直前合宿及び今後の国際大会に出場する選手たちの競技力向上を目的に開催されました。

第58回全日本アマチュア本因坊決定戦大阪府予選で4位入賞

7月8日（日）、日本議員関西総本部で開催された佐川急便杯第58回全日本アマチュア本因坊決定戦大阪府予選（毎日新聞主催）で、本学囲碁部所属の嶋津太郎選手（経済学部1年）が、学生で唯一のベスト4入賞を果たしました。

同選手が出場した大阪府予選では、昨年アマチュア囲碁世界一にも輝いた選手が出場しており、毎年のように全国優勝者を輩出している激戦区に相応しいハイレベルな戦いが繰り広げられました。

関西学生春季リーグ戦（団体戦）全勝優勝！！将棋部B級に昇格

関西学生将棋連盟主催春季一軍戦（団体戦）が、6月17日（日）に同志社大学新町校舎で開催されました。第1～3戦では、3連勝と好調なスタートを切り、第4戦、対大阪商業大学戦を6-1、最終戦となった第5戦、対和歌山大学戦を5-2で勝利し、見事5戦全勝優勝を果たしました。この結果、将棋部は秋季よりB級への昇格が決定し、今後のさらなる活躍が期待されています。



株式会社愛洋産業は、1969年に工業用ゴム、プラスチック製品の総合商社として出発した。その後、合成樹脂製品の製造と情報機器などの組立加工へと業務内容を拡大し、現在では年商70億円、特許権(工業所有権)400有余を所有する企業へと発展してきた。愛知支部長の岸泰至さんは卒業後約7年間修業後、父親であり創業者の岸洋司氏が代表取締役を務める愛洋産業に入社し、現在では営業部門の責任者として陣頭指揮を執っている。

愛洋産業には校友会愛知支部長の岸泰至さんを始め、6名の校友が在職している。岸泰至支部長にその理由をお聞きしたところ、「何かの縁で経法大を卒業したのだから、できる限り経法大出身者を迎え入れたい」と答えていただいた。

今回は愛洋産業に在職する校友の皆さんに集まっていたいて、お話を伺った。



◎まず経法大を選んだ理由を聞かせて下さい。

岸：ちょっとカッコつけると、自由が欲しかったからかな？親元から離れて自立したかったんです。それで、名古屋の大学じゃなく大阪の大学を選びました。入学したらいろんな地方からの学生がたくさんいて、面白かったですね。最近の高校生は自宅から通える大学を選ぶ傾向が強いとのことですが、時代は変わったなと思います。

近藤：高校の先生から勧められました。推薦入学で早く進路を決めたかった。

杉峯：私も地元(高知)から出たかったこともあるし、出身校の高知商業からも多くの先輩が経法大に行っていたので、ここなら安心かなと思って決めました。

丹羽：大阪に行きたかったというのが大きいですね。友人や先輩が経法大にいたし、高校の先生からの勧めもありました。正直言うと、あんまり覚えてないんですよ。(笑)

島田：自宅から通学できるのと、法律に興味があったので決めました。

山崎：高校時代(岡山県作陽高校)サッカーをしていて、監督から関西の大学でサッカーに力を入れている大学だといわれて、スポーツ推薦で入学しました。

◎皆さんはどんな学生生活を過ごされましたか？

岸：入学したときは、大学近くの学生寮に住んでいたのですが、上下関係が予想以上に厳しくて、それで4回生追い出しコンパの日に寮から逃げ出しました。後で家主に出て行ったことを伝えました。(笑)テニス部に所属していたので、ほぼ毎日テニスばかりしていました。当時は部室もなく、夏は水道で水浴びをし、冬は汗びしょりのまま帰ることもしばしばでした。練習後に仲間と飲むビールは最高でした。また、平日は朝6時から豆腐屋で休日は引越センターなどのアルバイトに明け暮れた学生生活でどれも思い出でした。

近藤：空手部に所属していました。経法大は強豪校だったので、本当に練習がきつかった。合宿費用をためるためにスイミングスクールでアルバイトをして、ほんとに大学生活=空手一色で、今から思えばいい思い出の一つです。

杉峯：仲間を募って、休みにはバイクでのツーリングに頻繁に行っていました。西は広島から東は北海道まで日本各地を走り回りました。バイクが好きだったので、バイク屋さんでもアルバイトした経験もあります。愛洋産業に入っていなかったらバイク屋でも開いていたかも？

丹羽：思い出は仲間と良く呑みに行ったことぐらいかな？授業がないときは名古屋に帰っていたので、大阪ではアルバイトもしていませんでした。学生寮ではなくアパートに住んでいたため、静かで落ち着いた学生生活を送りました。

島田：2回生まで柔道部に所属していました。練習もきつかったことなどがあって、2回生で退部し、その後の学生生活は、アルバイト一色でしたね。佐川急便は体力的に厳しくて、最終的にはファミレスのウェイターを卒業まで勤めました。

山崎：大学時代はサッカー部の練習とアルバイトに没頭しました。サッカー部で初めての海外遠征(1回生時には中国の延辺大学への親善試合。4回生時には韓国の崇実大学へ親善試合)に行ったことが今でも懐かしい思い出として残っています。アルバイトはいろいろ経験しました。体力勝負の運送会社から夜間のパン屋などで結構大変でした。

◎岸さんにお聞きしますが、愛洋産業はどんな会社ですか？また、父親の経営する会社に入った理由は何ですか？

当社は1969年に設立されました。工業用ゴム・プラスチック・ウレタン製品を販売しており、電線の「絶縁カバー類」や電柱の「表示板」や鳥の糞から守る「鳥害防止具」などが、身近で使われているオリジナル製品の代表です。

なぜ愛洋産業に入社したかということ、父親が会社を継いでいる姿を小さいころから見ていて、自分も将来は父親の会社を継いで、もっと大きく立派な会社にしていきたいと思っていたからです。現在、製造部門の責任者である兄と共に、営業部門の責任者として、会社発展の原動力になっていると自負しています。

また、総務・人事部門も任されているので、総務課の丹羽君と経法OBを積極的に採用していこうと考えています。現在経法大出身者は5名ですが、みんな会社の中核として、重要な役割を果たしてもらっています。今年度は新たに留学生の受け入れを検討しており、今後より一層校友の採用に力を入れていきたいと考えています。

◎今年6月に岸さんが校友会愛知支部の支部長に、島田さんが副支部長に就任されましたが、愛知支部の今後の取り組みについてお聞かせください。

岸：名古屋圏(愛知県・岐阜県)には約1,500名の校友がいます。さまざまな業界で活躍している校友と異業種交流しながら、お互いに助け合うような関係を作っていければいいなと考えています。損得勘定なしで、経法大卒業生として和気あいあいとした仲間作りができればいいなと思っています。それにはもっと多くの校友に参加していただく必要があります。現在、愛洋産業には私を含めて6名の校友が在職しています。私の力だけでは支部活動は活性化できないので、今後は彼らの協力も必要となってきます。毎年1名の校友が新たに校友を1名支部総会に参加していただけるようになれば、徐々に愛知支部の活動を活性化させることができると思います。

島田：岸支部長が言われたように、まだまだ愛知支部活動への参加者は校友の数に比べると多くありません。今後、愛知支部がどの地方支部よりも活発な活動を行うためにはどんな活動が必要か、日々模索中です。とにかく、岸支部長を盛り立てて縁の下の力持ちに徹していこうと思っています。



- 山崎 亨さん 1994年度経済学部卒業
工業用品部 営業二課 チーフ
- 島田 博史さん 1992年度法学部卒業
工業用品部 営業三課 リーダー
校友会 愛知支部副支部長
- 杉峯 安彦さん 1988年度経済学部卒業
春日井事業所 組立グループ
- 洪田 博之さん 常任幹事・法学部20期生
- 岸 泰至さん 1985年度法学部卒業
取締役
校友会 愛知支部支部長
- 近藤 滋之さん 1987年度法学部卒業
春日井事業所
生産管理グループ グループリーダー
- 丹羽 信二さん 1991年度法学部卒業
総務部総務課

<取材後記>
岸支部長とはこれまで校友会総会で何度かお話をする機会がありましたが、今回愛洋産業に在職する5名の校友の方を含めて取材をさせていただき、本当に岸支部長の母校愛には感服しました。これまで多くの校友を採用し、今後の会社の発展のためには、まだまだ校友を採用していきたいと熱く語られました。

取材後の懇親会でも、今後の愛知支部の活動方針などについて熱心に議論され、次回の支部総会にはより多くの校友が参加するよう全員で積極的に働きかけていくことが確認されました。新愛知支部長として、母校愛を愛知県に在住する校友に注いでいただき、愛知支部が今後必ず発展していきたくらうと確信できました。

(洪田 博之/常任幹事・法学部20期生)

東京支部



4月20日(金)、第6回東京支部総会を東京都港区にある大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウスで開催しました。

総会ではまず、宮松支部長より開会挨拶が行われた後、西澤常任幹事(キャリア支援課参事)より、校友会本部を代表して挨拶が行われました。その後、姜常任幹事(エクステンションセンター事務長代理)より、大学の近況報告及び校友会の2012年度活動計画等について報告が行われ、今後の東京支部のさらなる発展に向けた建設的な意見交換が行われました。また、今年度の支部総会では、第5期東京支部役員を選出が行われ、提案どおり承認されました。

東京支部総会は、昨年は東日本大震災の影響により、10月の開催となりましたが、今後はこれまでどおり、毎年4月の第3金曜日に開催いたします。

また、東京支部だけでなく関東地域(神奈川県・千葉県・埼玉県・栃木県・茨城県・群馬県)に居住する校友も対象となりますので、異業種の校友と交流を図りたいとお考えの方は、是非ご連絡をいただければと思います。

愛知支部



愛知支部は、毎年1回支部総会・懇親会を開催しております。今年度は6月23日(土)に、名古屋市中区の名古屋クラウンホテルで開催しました。

総会では冒頭、中町支部長より開会の挨拶が行われた後、八瀬林副会長、中村常任幹事より校友会の活動報告や大学の近況について報告が行われた後、愛知支部のさらなる活性化をめざし、参加者から忌憚のない意見交換が行われました。また、今回の支部総会では役員改選が行われ、中町支部長の後任として岸副支部長、その後任として島田幹事が新たに選出され、承認されました。

今回の支部総会も久しぶりに参加した校友や初参加の校友もおり、少しずつ輪が広がっているように感じます。「また会いたい。また参加してみようかな。」と思っていただけるような支部にできるよう、今後は支部総会だけでなく、経法祭への参加、忘年会、新年会、ボウリング大会やバーベキュー大会など、家族も参加できる企画も実施したいと思っています。

石川支部



石川支部は、校友相互の親睦を一番の目的に毎年支部総会を開催し、本部総会への出席、経法祭への参加等、活発に活動しています。特に支部総会では、これまで藤本学長から母校発展の近況、故福本名誉教授から母校の創設期の話、橋本名誉教授から母校の未来展望、昨年は伴井会長に「経法大一期生として」と題して在学中の思い出話や社会に出てからの活躍、校友会のヴィジョンについて講演をいただきました。

また、近年は福井・富山両県の校友にも行事への参加を呼びかけ支部活動の輪を広げています。さらに、現役学生の支援にも力を入れ、今年8月には支部会員の経営する企業がインターンシップで高砂経済学部准教授のゼミ生10名を受け入れ、期間中、支部会員が毎晩日替わりで「仕事」をテーマに、実社会の厳しさ・心構え・真剣に働く事で社会の役に立るというやり甲斐をOBとして語りました。校友会に参加した事のない皆様、校友会は懐かしい『再会』の場であり、新たな『出逢い』の場でもあります。どうぞ遠慮なく『再会』と『出逢い』を求めてお気軽にご参加ください。

三重支部

三重支部は、4月21日(土)名張市内において第5回支部総会を開催し、設立以来最多となる会員の出席を得ることができました。

今回の総会では、今年3月に本学を卒業された濱口陽平会員を若年層からの情報や意見を取り入れるべく新役員に、また中堅層にも重点を置き、女性会員を含む2名の会員にもそれぞれ新役員として加入して頂きました。そのなかで、支部会員同士がリアルな情報共有を行うための「YAHOOグループメール」を開設したほか、支部役員の名刺を作り、校友会幹事会等へ出席する機会に合わせ、三重支部の存在と会員であることのPR活動に繋げることを確認しました。

三重支部では、毎年支部総会・懇親会を開催している他、定期的に支部役員会も開催しています。来年度も卒業生の出席を増やせるよう活動するとともに、「YAHOOグループメール」メンバーへの加入も大歓迎です。

年数が経ち、校友会に参加する機会を逃してしまった三重県校友の皆さんのご参加をお待ちしております。



岡山支部

岡山支部では、在学生に対する支援活動として、①岡山の求人企業紹介、②求人状況等の情報提供、③岡山県地域情報(企業状況等)の情報発信を積極的に進めております。卒業生に対しては、岡山県在住又は転勤等で一時岡山県に在住している方に、異業種交流、岡山県の地域情報発信の場として利用していただいているほか、年3回懇談会を開催し、皆様の交流の場としても活用していただいています。

岡山支部は2011年度の活動として、東日本大震災義援金を山陽新聞社を通じて寄付したほか、第40回経法祭(学園祭)での模擬店販売(キャラメルコーン)などを行い、積極的に校友会事業に参加しています。

第11回支部総会・懇親会は、先月9月15日(土)に駅前ミヨシノで開催され、大学の近況報告の他、今年度の活動方針や今後の活動予定等について、報告が行われました。

現在、岡山県に居住・就業されている校友の皆さまは、是非岡山支部の活動にご参加ください。



東京支部 (2001年設立)			
支部長	宮松 久浩 (9期生/1982年度卒業)	会員数	163人
連絡先	〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10(大阪経済法科大学内) ☎072-941-8268 ✉kouyukai@keiho-u.ac.jp		
愛知支部 (1999年設立)			
支部長	岸 泰至 (12期生/1985年度卒業)	会員数	835人
連絡先	〒462-0828 愛知県名古屋市中区東水切町4-55 ☎090-3251-0091 ✉y_kishi@aiyo.co.jp		
石川支部 (2000年設立)			
支部長	山下 浩希 (10期生/1983年度卒業)	会員数	283人
連絡先	〒920-2501 石川県白山市白峰イ-23 ☎076-259-2024 ✉hiroki@mitsu102.co.jp		
三重支部 (2008年設立)			
支部長	中須 秀治 (1期生/1974年度卒業)	会員数	709人
連絡先	〒519-3204 三重県北牟婁郡紀北町紀伊長島区東長島2311-1 ☎090-7311-6382 ✉keiho-mie@yahoo.com		
岡山支部 (2000年設立)			
支部長	樋上 有司 (4期生/1977年度卒業)	会員数	737人
連絡先	〒700-0912 岡山県岡山市北区大供表町2-26 ☎070-5525-9441 ✉y8h8b31jp@yahoo.co.jp		

広島支部



広島支部は、1999年1月に全国に先駆けて設立された支部です。西日本で一番卒業生の多い県ではありますが、それだけに一度に多くの校友が支部総会等に一堂に会するのは難しいのが現状です。

年に一度の支部総会では、会員相互の近況報告、意見交換等を主に親睦を深めることを第一義に楽しい一時を過ごしております。また、校友会の役員にも出席していただき、大学の現状等について報告をいただき、在学時を懐古したり大学の発展を喜んでおります。広島支部のモットーは「和と協調」ですが、校友一人ひとりが母校愛の下、経法大が歴史と伝統を刻み、少しでも高い名声を得ることを期待しているところであります。

広島支部としては、本部のみならず他支部との交流を通じて、校友会を一層盛り上げるとともに校友会に限らず、大学とも積極的に連携して、在学生を含む校友の就職活動や種々の相談にも応需して、より活発な活動を展開できる体制を構築していきたいと思っております。広島県在住の校友諸兄には一人でも多くご参加いただけるよう、心よりお待ちしております。

高知支部



高知支部は、毎年6月の第3土曜日に支部総会・懇親会を開催し、今年度は6月23日に高知市内の土佐御苑で開催しました。

今年の総会には、高知支部創設に貢献いただき、本年3月末に本学を退職された高岡幸一幹事をお招きし、支部創設時の苦労話や大学の歴史などについてお話をいただきました。また、在職中はサッカー部の副顧問をされていたこともあり、同部に所属していた校友が総会・懇親会に多数参加し、例年以上の盛り上がりを見せました。その他、毎年12月には、本部校友会総会や経法祭参加の報告会を兼ねた支部忘年会も行っています。また、他地域の校友が来高した際は、できる限り『歓迎会』を開催したいと考えていますので、是非お声をおかけください。

現在、支部活動に参加していただいている校友は、1期生から32期生までおり、職種も小学校の校長や会社経営者、市内某有名ホテルマン、大手旅行代理店支店長など様々です。高知支部の活動に興味がある校友の皆さんは、是非ご連絡をお願いします。

香川支部



香川支部は、1999年9月の設立以降、主に卒業生と大学、学生との三者間の情報交換を目的に活動してきました。

少しずつではありますが会員数も増えて毎年、2月～3月に高松市内にある喜代美山荘花樹海にて支部総会を開催し、世代を超えた多くの校友に参加いただき、楽しく、有意義な時間を過ごすことができます。香川支部としては、支部総会などに一人でも多くの校友に参加をいただけるよう、案内をしております。香川県近隣の愛媛、徳島の方や、香川県に赴任中の卒業生の方の積極的な参加をこころよりお待ちしております。また、支部活動として、校友会総会や経法祭への参加、地方で行われる父母懇談会への参加・協力、県内でのクラブ活動の応援援助等を行っています。なかでも、毎年、参加・協力依頼のある父母懇談会には、2～3名の卒業生が参加し、在学生父母の相談などに応じています。特に香川県内の就職雇用の状況や就活情報に非常に興味・関心が高く、少しでも参考になればと様々な業界に関する情報提供を行っています。これからも一人でも多くの卒業生に香川支部の活動にご参加・ご協力いただき、香川支部をさらに発展させていきたいと思っております。

福岡支部

福岡支部では、この間支部総会をはじめ、定期的な支部活動を展開することができていませんでしたが、他地域の活発な支部活動などを見させていただき、福岡支部も今後、校友間の交流や在学生に対する支援活動などを積極的に展開していきたいと考えております。

本年11月には、11年ぶりとなる支部総会・懇親会を開催させていただき、福岡支部の新たな活動をスタートさせ、今後の支部活動の方向性や活動方針などについて確認する予定です。また、校友会会則に示された目的に基づき、会員相互の親睦と連携を深め、大阪経済法科大学の発展に寄与できるよう、校友会本部とも連携を図りながら、校友の皆さま、在学生の皆さまにとって、必要とされる支部づくりをめざしていきたいと思っております。

今後、福岡支部が九州地域を代表できる支部として、また多くの校友の皆さまに参加していただける支部となるよう活動していきますので、九州地域にお住まいの校友の皆さまは、是非福岡支部の活動にご参加ください。



沖縄支部

沖縄支部は、1999年の設立以降、沖縄県出身の卒業生を中心に、支部活動をはじめ校友間の交流などを目的に活動を行っています。

今年で12回目の開催となる支部総会は、台風上陸等により延期になっておりましたが、10月20日(土)に北谷町美浜地区で開催を予定していますので、沖縄県在住の校友の皆さまは、是非ご参加ください。

例年沖縄支部総会には、校友会本部役員の方にも参加していただき、大学の近況報告をはじめ、沖縄支部の活動状況及び活動計画等について報告、意見交換が行われます。また、懇親会では、大学在学中の思い出話や異種業種間の情報交換等も活発に行われ、深夜まで唄と笑いの絶えない楽しい時間を過ごしています。

参加者は、1期生から新卒者まで幅広く、世代を超えた交流が楽しめるのも沖縄支部総会・懇親会の特徴です。沖縄支部は、今後も沖縄県出身の卒業生及び在学生の支援を積極的に行っていくとともに、他支部との交流・親睦を含め、校友会全体のさらなる発展に貢献できればと思っています。



広島支部 (1999年設立)			
支部長	柘田 博昭 (3期生/1976年度卒業)	会員数	1,045人
連絡先	〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10(大阪経済法科大学内) ☎072-941-8268 ✉kouyuukai@keiho-u.ac.jp		
高知支部 (2002年設立)			
支部長	小橋 光生 (1期生/1974年度卒業)	会員数	508人
連絡先	〒780-0064 高知県高知市和泉町11-16 ☎090-8971-0040 ✉teruo_kobashi@kt5.kochinet.ed.jp		
香川支部 (1999年設立)			
支部長	石塚 央 (6期生/1979年度卒業)	会員数	496人
連絡先	〒763-0072 香川県丸亀市山北町529-1 ☎090-5144-7096 ✉kouyuukai@keiho-u.ac.jp		
福岡支部 (2001年設立)			
担当者	澁田 博之 (20期生/1993年度卒業)	会員数	211人
連絡先	〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10(大阪経済法科大学内) ☎090-5663-6956 ✉rs_h-shibuta@kawachi.zaq.ne.jp		
沖縄支部 (1999年設立)			
支部長	新里 靖 (14期生/1987年度卒業)	会員数	153人
連絡先	〒581-8511 大阪府八尾市楽音寺6-10(大阪経済法科大学内) ☎072-941-8268 ✉kouyuukai@keiho-u.ac.jp		

平成24年司法試験に今井武大さん(法学部34期生)が合格!

9月11日に「平成24年司法試験」の合格発表が行われ、本学法学部卒業生の今井武大さん(法学部34期生)が合格されました。

今井さんは、本学Sコース「法職講座」において、1年次から法科大学院進学に向けた勉強に取り組み、2008年に本学を卒業後、北海道大学法科大学院に進学され、今日まで勉学に励んでこられました。

合格を心からお祝い申し上げますとともに、そのご努力に敬意を表します。今後、さらにご活躍されることを祈念いたします。

大阪経済法科大学では、法曹・法律専門職をめざす学生のために、Sコース(特修講座)「法職講座」を開設し、法科大学院進学、司法書士・行政書士試験の受験をサポートしています。学生の夢と目標の実現に向け、学生本位の丁寧な教育をよりいっそう充実させるよう努めてまいります。

藤原弘介監督(法学部23期生)率いる佐久長聖高校が甲子園出場!

7月22日(日)、第94回全国高校野球選手権県大会長野県予選決勝が、松本市野球場で行われ、本学卒業生の藤原弘介さん(法学部23期生)が監督を務める佐久長聖高校野球部が、2002年以来10年ぶり5度目の優勝を果たし、今夏の甲子園出場権を獲得しました。

これまでPL高校硬式野球部監督として甲子園に3度出場した経験のある同監督は、今年春就任したばかりの佐久長聖高校で持ち前の指導力を発揮し、チーム打率3割8分3厘の強打で長野大会を勝ち上がり、10年ぶりに夏の甲子園出場に導きました。

結果は、残念ながら1回戦敗退となりましたが、藤原監督並びに同校の今後ますますの活躍を祈念いたします。

1
回
戦

○第94回全国高校野球選手権大会結果

作新学院高校(栃木県)	0	0	0	3	0	1	4	0	0	9
佐久長聖高校(長野県)	3	0	1	0	0	0	1	0	0	5

【事務局だより】

卒業生の情報をご提供ください!

大阪経済法科大学は、昨年創立40周年を迎え、これまで約4万人もの卒業生を社会に送り出してきました。

本学を卒業生された校友の皆様は、地方自治体の首長をはじめ法曹界、産業界、経営者、アーティストなど、あらゆる方面で活躍されております。

校友会のホームページでは、このように社会で活躍する卒業生の情報を積極的に発信していきたいと考えています。先輩や後輩、テレビや新聞などで本学卒業生の活躍をご存じの方は、是非情報をご提供ください。

皆さんで、活躍する卒業生を一緒に応援しましょう!

不審な問合せにご注意ください!

最近、他大学の同窓会組織で、大学名や校友会(同窓会)などの名を騙り、電話やハガキで卒業生名簿作成と偽り、個人情報を探めてくるケースが頻繁に発生しております。また、何らかの方法で同窓会名簿を入手し、営業などに利用しているという事例も報告されています。

このような問合せには、発信元の住所や連絡先を確認した上で、慎重に対応してください。

大阪経済法科大学校友会は、名簿を出版する事実(予定)もなく、特定の業者を推薦、斡旋することはありませんので、くれぐれもご注意ください。

【校友会Q & A】

Q 1: 校友会費20,000円を納めたかどうか知りたいのですが?

A 1: 下記校友会事務局まで、電話又はFAX、e-mailでお問い合わせください。また、校友会費20,000円は、年会費ではなく終身会費となっています。1度会費を納めていただいている場合は、会費納入の必要はありません。

※注意: 2001年以降の入学生(編入生を除く)については、在学中に校友会費を委託徴収しておりますので、会費納入の必要はありません。また、2003年度以降に入学した編入生については、卒業後に、委託徴収金の残額1万円を納入する必要があります。

Q 2: 卒業証明書・成績証明書を発行してほしいのですが?

A 2: 卒業証明書・成績証明書の発行を希望される場合は、郵送(教務課宛)又は教務課窓口にてお申し込みいただくことができます(電話やFAX、メールでの申し込みはできません)。詳しくは、大学ホームページ「各種申請書・願・届」(<http://www.keiho-u.ac.jp/campuslife/sheet/certificate.html>)をご参照ください。

※個人情報保護の観点から、証明書の発行には、本人確認をさせていただく必要があります。

Q 3: 「東京麻布台セミナーハウス」「琵琶湖セミナーハウス」「阪南キャンパス」など、大学の所有する施設を利用できますか?

A 3: 校友会費を納めていただいている会員については、大学の行事、学生の課外活動等を優先の上で、日程が空いていれば利用することができます(有料)。